

平成27年度 部局長マネジメント方針

かわぐち せいじ
副市長 川口 誠司



私の決意

私は、平成23年11月に副市長に就任いたしました。それまでは、市職員として、危機管理、広報、経営企画等の分野に携わってまいりました。その経験を通じ、私は、副市長就任以来、何よりもまず市民の生命と財産を守ること、また、市民の皆さまに行政のことをよりわかりやすくお伝えし、理解と協力を得ること、この2つのことを常に念頭に置きながら職務に当たっております。

私が担当する部局は幅広く、また、副市長として市長のトップマネジメントを補佐し、市政全般にわたり政策を推進していく重責を担っております。各部局とも様々な課題がありますが、平成27年度に取り組む課題として、特に3点をあげます。

まず、危機管理体制のさらなる整備であります。平成25年度に防災システムを全市域で整備いたしました。公共施設の耐震化も進んでおり、ハード面については、一定の目途がつきつつあります。今後は、関係機関、団体、市民の皆さまと協力しての防災訓練の充実、備蓄物資の継続した整備、また、地域版ハザードマップの作成等、ソフト面での充実を図ってまいります。

次に、行財政改革であります。平成27年度からスタートする「東大阪市行財政改革プラン2015」に基づき、行財政改革を進めてまいります。削る、やめるだけの視点だけではなく、市民サービスの向上を実現する視点も重視して取り組んでまいります。

最後に、本市の魅力を高め、内外に発信する取り組みであります。ラグビーワールドカップ2019の花園開催の成功に向けたスタートダッシュを切ることはもちろん、新たな観光まちづくりや効果的な広報、新市民会館建設に向けたスピード感ある取り組みなど、私が先頭となって進めてまいりたいと考えております。